

# 1 地域別の経済規模と推移

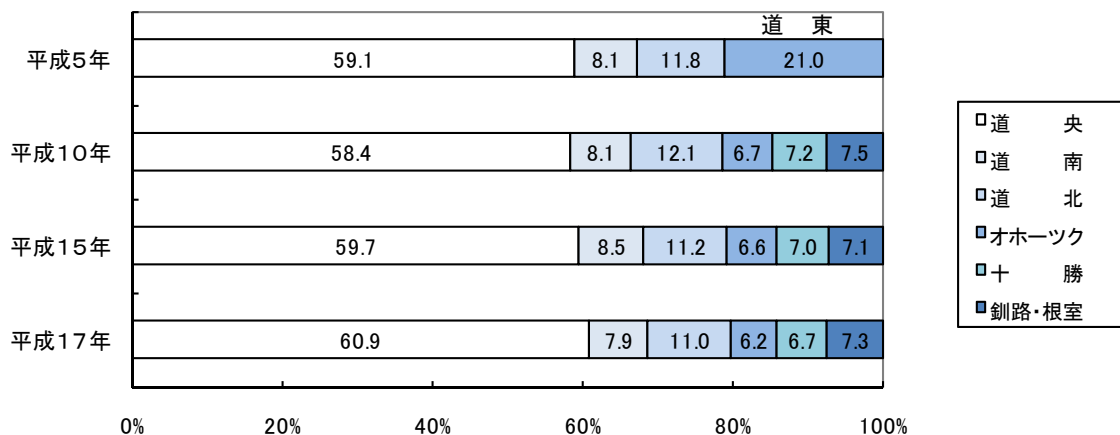
平成 17 年の地域別の経済規模を生産額で比較すると（表 1 及び図 1）、「道央」が 20 兆 7,040 億円と最も大きく、北海道全体の生産額 33 兆 9,837 億円のうち 60.9%を占めている。次いで「道北」が 3 兆 7,306 億円（シェア 11.0%）、以下、「道南」2 兆 6,764 億円（同 7.9%）、「釧路・根室」2 兆 4,859 億円（同 7.3%）、「十勝」2 兆 2,914 億円（同 6.7%）、「オホーツク」2 兆 0,954 億円（同 6.2%）の順となっている。

平成 15 年の生産額の割合と比較すると、「道央」及び「釧路・根室」のシェアは上昇し、生産額についても、「道央」及び「釧路・根室」が増加している。

表 1 地域別生産額の推移

	生産額（億円）				構成比（%）				生産額の伸び率（%）		
	平成 5 年	平成 1 0 年	平成 1 5 年	平成 1 7 年	平成 5 年	平成 1 0 年	平成 1 5 年	平成 1 7 年	5～10年	10～15年	15～17年
道 央	200,705	204,945	199,968	207,040	59.1	58.4	59.7	60.9	2.1	-2.4	3.5
道 南	27,617	28,462	28,382	26,764	8.1	8.1	8.5	7.9	3.1	-0.3	-5.7
道 北	39,944	42,330	37,457	37,306	11.8	12.1	11.2	11.0	6.0	-11.5	-0.4
オホーツク	71,256 （道東）	23,525	22,031	20,954	21.0 （道東）	6.7	6.6	6.2	5.2 （道東）	-6.4	-4.9
十 勝		25,308	23,361	22,914		7.2	7.0	6.7		-7.7	-1.9
釧路・根室		26,133	23,777	24,859		7.5	7.1	7.3		-9.0	4.6
北海道計		339,522	350,703	334,975		339,837	100.0	100.0		100.0	100.0

図1 道内生産額に占める地域別生産額の割合とその推移



## 2 地域別産業構造

各地域の5産業別（注1）生産額の構成比をみると（図2）、「道央」は全道と比較して第1次産業の割合が低く、第3次産業の割合が高い、都市型の産業構造となっている。特化係数（注2）をみると（表2）、製造業部門の銑鉄・粗鋼が高い値を示している。

「道南」は、全道と比較して建設業の割合が高い。特化係数では、漁業と製造業部門の水産食料品が高く、豊かな漁業資源を利用した水産食料品製造業が盛んであることがわかる。

「道北」は、全道と比較して製造業の割合が低い一方、建設業の割合は高い。特化係数では、繊維と製材・家具が高い値を示している。

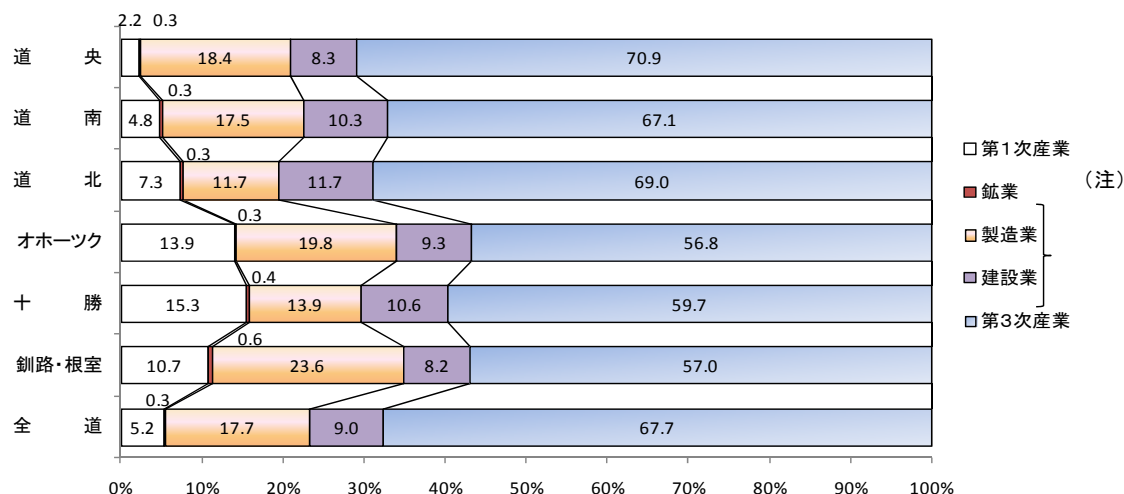
「オホーツク」、「十勝」及び「釧路・根室」の3地域は、全道と比較して第1次産業の割合が高く、第3次産業の割合が低い。農業、漁業並びに製造業部門のと畜・肉・酪農品及び水産食料品の特化係数をみてみると、「オホーツク」では、農業、漁業、と畜・肉・酪農品及び水産食料品がともに高い値を示している。「十勝」では、農業、と畜・肉・酪農品が非常に高いが、一方で漁業、水産食料品は低い。「釧路・根室」では、漁業、水産食料品が非常に高い。また、農業の特化係数と比較して、と畜・肉・酪農品の特化係数が高くなっていることが特徴的で、これは、「釧路・根室」では穀物等の耕種農業よりも、畜産業が盛んであるためと考えられる。

このように、「オホーツク」、「十勝」及び「釧路・根室」の3地域ではそれぞれの地域の豊かな資源を利用した産業が盛んであることがわかる。

（注1） 5産業とは、第1次産業、第2次産業の鉱業、第2次産業の製造業、第2次産業の建設業及び第3次産業である。（以下同じ。）

（注2） 地域別産業別生産額の割合を、対応する道内生産額の産業別の割合で除して求めた係数である。「1」であれば、地域における当該産業の生産額の割合が、道内全体における割合と同じであることを示す。

図2 地域別産業構造（5産業別）



(注) 第1次産業：農業、林業、漁業  
 第2次産業：鉱業、製造業、建設業  
 第3次産業：電力・ガス・水道、商業、金融・保険・不動産、運輸・情報通信、公務、サービス業、分類不明と分類している。（13部門分類（参考表参照）、以下同じ。）

表2 地域別産業別特化係数

	道央	道南	道北	オホーツク	十勝	釧路・根室
1 農業	0.46	0.60	1.38	2.56	3.51	1.74
2 林業	0.37	0.90	1.79	3.61	2.79	1.29
3 漁業	0.26	2.47	1.45	3.02	0.34	3.79
4 鉱業	0.87	1.03	0.95	0.92	1.27	1.94
5 製造業	1.04	0.99	0.66	1.11	0.79	1.33
うちと畜・肉・酪農品	0.54	1.39	1.07	2.19	2.11	2.25
水産食料品	0.28	3.24	0.88	2.38	0.21	4.37
その他の食料品	0.80	1.05	0.83	1.81	1.89	1.41
繊維	0.79	1.31	2.81	0.31	0.60	0.60
製材・家具	0.70	0.86	1.82	2.38	0.96	1.28
パルプ・紙	1.03	0.09	0.94	0.05	0.26	3.30
印刷・製版・製本	1.33	0.43	0.70	0.48	0.47	0.23
化学製品	0.94	1.30	0.26	0.75	0.87	2.66
石油・石炭製品	1.62	0.02	0.04	0.02	0.03	0.03
窯業・土石製品	0.85	2.79	0.96	0.79	0.97	0.62
銑鉄・粗鋼	1.64	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
鉄鋼一次製品	1.59	0.22	0.05	0.07	0.04	0.04
非鉄金属一次製品	1.45	0.87	0.21	0.00	0.33	0.00
金属製品	1.32	0.52	0.64	0.37	0.47	0.39
機械	1.10	1.38	0.55	1.68	0.54	0.24
その他ほか(注)	1.22	0.56	0.76	0.75	0.46	0.68
6 建設業	0.92	1.14	1.29	1.03	1.17	0.91
7 電力・ガス・水道業	1.19	1.29	0.59	0.51	0.59	0.51
8 商業	1.07	0.86	0.94	0.82	0.99	0.79
9 金融・保険・不動産	1.06	0.90	0.99	0.79	0.66	1.11
10 運輸・情報通信	1.08	0.88	0.90	0.80	0.92	0.86
11 公務	0.93	0.95	1.48	1.11	0.98	0.86
12 サービス業	1.03	1.13	1.02	0.84	0.91	0.76
13 分類不明	0.97	0.98	1.06	0.99	1.10	1.10

(注) 3部門分類（参考表参照）における皮革・ゴム、その他の製造品及び事務用品

### 3 地域別域際収支

各地域の域際収支をみると（図3、表3-1、表3-2）、「道央」の道外域際収支（注1）は、機械が8,306億円の赤字となっており、全体では2兆2,760億円の赤字と大幅な輸移入超過となっている。また、道内域際収支（注2）は、商業が1,544億円の黒字となっており、全体では8,965億円の黒字と大幅な移出超過となっている。

その他の5地域をみると、道外域際収支では「道南」、「道北」及び「十勝」が赤字となっているが、「オホーツク」及び「釧路・根室」では黒字となっている。また道内域際収支では、商業及び金融・保険・不動産といった第3次産業の赤字幅が大きく、5地域ともに赤字となっている。

道外域際収支と道内域際収支を合計した域際収支計では、6地域すべてで赤字となっている。

（注1） 道外域際収支とは、ある道内地域と道外（海外含む。）との交易（取引）の収支である。

（注2） 道内域際収支とは、ある道内地域とその他の道内5地域との交易（取引）の収支である。

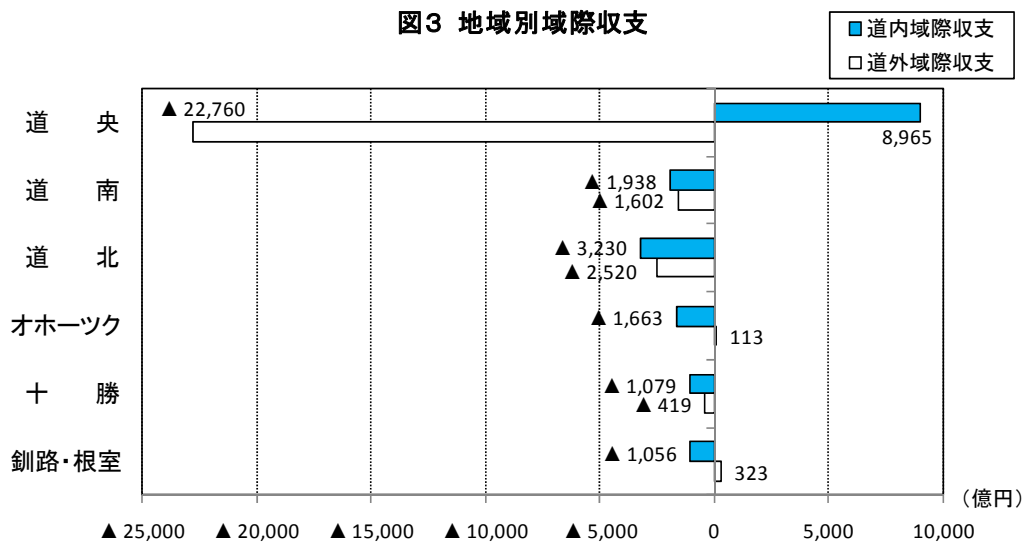


表 3 - 1 地域別域際収支

(億円)

	道外 域際収支	道内 域際収支	域際収支計
道 央	▲ 22,760	8,965	▲ 13,795
道 南	▲ 1,602	▲ 1,938	▲ 3,540
道 北	▲ 2,520	▲ 3,230	▲ 5,750
オホーツク	113	▲ 1,663	▲ 1,550
十 勝	▲ 419	▲ 1,079	▲ 1,498
釧路・根室	323	▲ 1,056	▲ 733
北海道 計	▲ 26,866	0	▲ 26,866

表 3 - 2 地域別産業別域際収支

(億円)

	道 央		道 南		道 北		オホーツク		十 勝		釧路・根室	
	道 外 域際収支	道 内 域際収支	道 外 域際収支	道 内 域際収支	道 外 域際収支	道 内 域際収支	道 外 域際収支	道 内 域際収支	道 外 域際収支	道 内 域際収支	道 外 域際収支	道 内 域際収支
1 農業	266	▲ 90	157	▲ 320	802	48	849	61	1,264	369	297	▲ 68
2 林業	▲ 117	▲ 52	2	▲ 17	▲ 9	11	▲ 1	11	4	49	▲ 25	▲ 2
3 漁業	▲ 26	▲ 89	75	▲ 106	74	130	84	105	11	▲ 0	111	▲ 39
4 鉱業	▲ 5,679	19	▲ 54	▲ 39	▲ 29	▲ 41	▲ 13	2	▲ 19	12	▲ 14	48
5 製造業	▲ 18,280	4,477	▲ 1,363	▲ 835	▲ 2,938	▲ 1,843	▲ 501	▲ 622	▲ 1,598	▲ 843	120	▲ 333
うち と畜・肉・酪農品	49	3	298	▲ 42	306	▲ 74	402	16	422	14	460	83
水産食料品	▲ 248	▲ 1	905	83	302	▲ 71	524	22	31	▲ 78	1,269	46
その他の食料品	▲ 3,363	191	▲ 218	▲ 127	▲ 389	▲ 377	41	118	11	78	▲ 254	117
繊維	▲ 1,518	21	▲ 212	▲ 11	▲ 248	▲ 0	▲ 157	▲ 5	▲ 148	▲ 7	▲ 170	▲ 7
製材・家具	▲ 604	49	31	▲ 44	151	8	134	53	37	▲ 36	8	▲ 30
パルプ・紙	1,031	30	▲ 47	▲ 68	179	▲ 3	▲ 48	▲ 64	▲ 21	▲ 51	596	155
印刷・製版・製本	▲ 116	298	▲ 23	▲ 75	▲ 27	▲ 53	▲ 16	▲ 46	▲ 17	▲ 49	▲ 21	▲ 75
化学製品	▲ 3,644	248	▲ 372	▲ 25	▲ 612	▲ 149	▲ 312	▲ 87	▲ 352	▲ 72	▲ 208	86
石油・石炭製品	1,387	1,850	▲ 405	▲ 371	▲ 424	▲ 545	▲ 236	▲ 302	▲ 249	▲ 310	▲ 295	▲ 322
窯業・土石製品	▲ 277	▲ 24	28	181	▲ 40	▲ 63	▲ 17	▲ 37	▲ 23	▲ 22	▲ 23	▲ 35
銑鉄・粗鋼	▲ 18	26	▲ 8	▲ 18	▲ 6	▲ 1	▲ 3	▲ 4	▲ 2	▲ 2	▲ 4	▲ 1
鉄鋼一次製品	1,142	256	▲ 38	▲ 53	▲ 85	▲ 85	▲ 28	▲ 43	▲ 51	▲ 39	▲ 37	▲ 36
非鉄金属一次製品	▲ 447	2	▲ 54	▲ 1	▲ 69	▲ 0	▲ 56	▲ 0	▲ 36	▲ 0	▲ 29	▲ 1
金属製品	▲ 677	421	▲ 138	▲ 68	▲ 173	▲ 101	▲ 77	▲ 89	▲ 96	▲ 81	▲ 94	▲ 82
機械	▲ 8,306	612	▲ 836	▲ 86	▲ 1,416	▲ 187	▲ 458	▲ 74	▲ 880	▲ 104	▲ 843	▲ 161
そのほか(注)	▲ 2,670	495	▲ 275	▲ 120	▲ 387	▲ 143	▲ 195	▲ 79	▲ 224	▲ 83	▲ 236	▲ 69
6 電力・ガス・水道	▲ 7	998	▲ 2	233	▲ 3	▲ 413	▲ 2	▲ 242	▲ 2	▲ 229	▲ 2	▲ 346
7 商業	751	1,544	▲ 239	▲ 616	▲ 160	▲ 340	▲ 135	▲ 369	11	70	▲ 136	▲ 289
8 金融・保険・不動産	▲ 437	1,170	▲ 66	▲ 371	▲ 85	▲ 161	▲ 46	▲ 182	▲ 52	▲ 550	▲ 44	94
9 運輸	1,613	60	63	▲ 88	120	▲ 22	37	▲ 40	112	54	174	36
10 情報通信	▲ 820	346	▲ 204	▲ 58	▲ 250	▲ 109	▲ 126	▲ 65	▲ 134	▲ 58	▲ 141	▲ 57
11 サービス業	▲ 19	589	31	281	▲ 40	▲ 492	▲ 33	▲ 318	▲ 17	48	▲ 17	▲ 107
12 分類不明	▲ 3	▲ 5	▲ 1	▲ 2	▲ 1	2	▲ 1	▲ 3	▲ 0	▲ 1	▲ 0	8
合 計	▲ 22,760	8,965	▲ 1,602	▲ 1,938	▲ 2,520	▲ 3,230	113	▲ 1,663	▲ 419	▲ 1,079	323	▲ 1,056

(注) 33部門分類(参考表参照)における皮革・ゴム、その他製造品及び事務用品



道内各地域間の取引の全額に占める各地域間の取引金額の割合をみると（表4）、「道央」とその他5地域との取引は、「道央－道北」間の24.3%をはじめ、いずれも10%を超えており、その合計は80.1%と北海道の経済において「道央」が中心となっていることがわかる。

一方、「道南－釧路・根室」間及び「道南－オホーツク」間の取引は、それぞれ1.0%、0.6%と道内各地域間の中で特に小さい。

表4 各地域間の取引ウェイト

		(%)			
道央	17.7	24.3	13.0	13.9	11.2
	道南	1.2	0.6	1.2	1.0
	道北		2.0	1.9	1.7
			オホーツク	2.1	4.4
				十勝	3.9
					釧路・根室

## 5 地域別生産誘発構造

産業連関表において、各産業の生産は、すべて最終需要により誘発される。図5、表5は、地域別に最終需要項目別生産誘発額（統計表の第2－4表参照）の割合を表したものであり、各地域の生産がどのような最終需要項目によって誘発されたのかを示している。

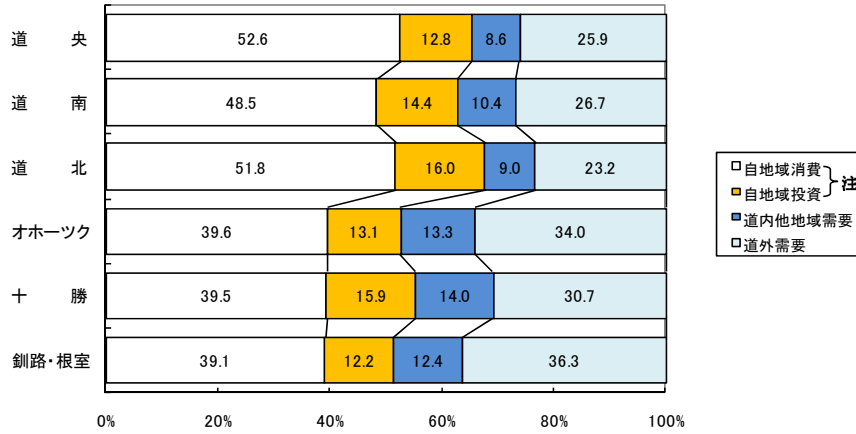
「自地域消費」による生産誘発額の割合をみると、「道央」が生産額（20兆7,040億円）の52.6%（10兆8,985億円）と最も高く、産業別では第3次産業が48.1%（9兆9,679億円）と高くなっている。

「自地域投資」による生産誘発額の割合は、「道北」が生産額（3兆7,306億円）の16.0%（5,959億円）と最も高く、産業別では第2次産業の建設業が11.1%（4,128億円）と高くなっている。

「道内他地域需要」による生産誘発額の割合は、「十勝」が生産額（2兆2,914億円）の14.0%（3,198億円）と最も高く、産業別では第3次産業が9.0%（2,053億円）と高くなっている。

「道外需要」による生産誘発額の割合は、「釧路・根室」が生産額（2兆4,859億円）の36.3%（9,018億円）と最も高く、産業別では第2次産業の製造業が16.8%（4,165億円）と高くなっている。

図5 地域別最終需要項目別生産誘発構造



(注) 自地域消費とは、自地域の家計外消費支出、民間消費支出及び一般政府消費支出のことである。

自地域投資とは、自地域の総固定資本形成（公的、民間）及び在庫純増のことである。（13部門分類参照）

表5 地域別最終需要項目別生産誘発額の割合

(億円、%)

地域	産業	自地域消費	割合	自地域投資	割合	道内他地域需要	割合	道外需要	割合	合計	割合	
		金額	(%)	金額	(%)	金額	(%)	金額	(%)	金額	(%)	
道央	第1次産業	740	0.4	175	0.1	482	0.2	3,134	1.5	4,532	2.2	
	第2次産業	飲業	60	0.0	25	0.0	104	0.1	339	0.2	529	0.3
		製造業	7,443	3.6	2,713	1.3	5,414	2.6	22,438	10.8	38,008	18.4
		建設業	1,063	0.5	15,719	7.6	139	0.1	269	0.1	17,190	8.3
	第3次産業	99,679	48.1	7,941	3.8	11,653	5.6	27,509	13.3	146,782	70.9	
合計	108,985	52.6	26,574	12.8	17,793	8.6	53,688	25.9	207,040	100.0		
道南	第1次産業	193	0.7	70	0.3	103	0.4	915	3.4	1,280	4.8	
	第2次産業	飲業	17	0.1	22	0.1	13	0.1	28	0.1	81	0.3
		製造業	759	2.8	302	1.1	512	1.9	3,109	11.6	4,682	17.5
		建設業	120	0.4	2,589	9.7	20	0.1	31	0.1	2,759	10.3
	第3次産業	11,879	44.4	870	3.3	2,139	8.0	3,073	11.5	17,961	67.1	
合計	12,968	48.5	3,853	14.4	2,787	10.4	7,156	26.7	26,764	100.0		
道北	第1次産業	299	0.8	163	0.4	380	1.0	1,892	5.1	2,734	7.3	
	第2次産業	飲業	12	0.0	30	0.1	21	0.1	41	0.1	104	0.3
		製造業	849	2.3	359	1.0	512	1.4	2,657	7.1	4,377	11.7
		建設業	176	0.5	4,128	11.1	19	0.0	38	0.1	4,361	11.7
	第3次産業	17,979	48.2	1,279	3.4	2,430	6.5	4,042	10.8	25,730	69.0	
合計	19,314	51.8	5,959	16.0	3,362	9.0	8,671	23.2	37,306	100.0		
オホーツク	第1次産業	183	0.9	176	0.8	410	2.0	2,145	10.2	2,913	13.9	
	第2次産業	飲業	6	0.0	22	0.1	11	0.1	18	0.1	56	0.3
		製造業	435	2.1	188	0.9	775	3.7	2,744	13.1	4,141	19.8
		建設業	72	0.3	1,837	8.8	12	0.1	24	0.1	1,945	9.3
	第3次産業	7,608	36.3	523	2.5	1,577	7.5	2,190	10.5	11,898	56.8	
合計	8,305	39.6	2,745	13.1	2,785	13.3	7,120	34.0	20,954	100.0		
十勝	第1次産業	221	1.0	262	1.1	517	2.3	2,513	11.0	3,513	15.3	
	第2次産業	飲業	9	0.0	27	0.1	25	0.1	25	0.1	85	0.4
		製造業	527	2.3	278	1.2	589	2.6	1,802	7.9	3,196	13.9
		建設業	70	0.3	2,323	10.1	15	0.1	26	0.1	2,434	10.6
	第3次産業	8,216	35.9	752	3.3	2,053	9.0	2,666	11.6	13,687	59.7	
合計	9,043	39.5	3,642	15.9	3,198	14.0	7,032	30.7	22,914	100.0		
釧路・根室	第1次産業	165	0.7	243	1.0	360	1.4	1,879	7.6	2,648	10.7	
	第2次産業	飲業	7	0.0	17	0.1	52	0.2	66	0.3	141	0.6
		製造業	632	2.5	280	1.1	779	3.1	4,165	16.8	5,856	23.6
		建設業	114	0.5	1,875	7.5	18	0.1	34	0.1	2,042	8.2
	第3次産業	8,808	35.4	624	2.5	1,867	7.5	2,875	11.6	14,173	57.0	
合計	9,726	39.1	3,039	12.2	3,075	12.4	9,018	36.3	24,859	100.0		